

令和6年1月9日（火）

各種団体説明・依頼について

14：00～14：15

団 体 名	職	氏 名
日本教育公務員弘済会愛知支部	常任幹事	中野渡善樹 様
教育新聞	西三河支局長	加藤 政幸 様
	東三河支局長	中村 則夫 様

三河小中学校長会
役員・理事・常任委員様

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部長

「令和6年度入学時助成金」給付生徒の推薦について（依頼）

初春の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本支部の諸事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和6年度入学時助成金給付事業について、下記のとおり実施します。公務ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 助成対象生徒

令和5年度愛知県内に居住し、令和6年3月に県内の中学校を卒業後、4月に県内の高等学校等に入学する者

2 助成金額 10万円

3 助成生徒数 210名

※各地区から下記のようにご推薦ください。

名古屋…70名、尾張…70名、三河…70名

4 推薦名簿

別紙「推薦名簿」を作成の上、令和6年3月22日（金）までに、県校長会事務局にご提出ください。

【入学時給付助成事業担当 中野渡 善樹 TEL:052-951-3453】

(公 財) 日 教 弘 奨 学 事 業

愛知支部入学時助成金給付事業募集要項

日教弘愛知支部入学時助成金給付事業は、愛知県内の高等学校等に入学する者で、修学意欲がありながら学費等の支払いが困難な状況にある生徒に対して、入学時助成金の給付を行う事業です。令和6年度は下記要項のとおり実施します。

1 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 愛知支部

2 助成要件

(1) 助成の趣旨

修学意欲がありながら学費等の支払いが困難な状況にある生徒に対して入学時助成金を給付し、高等学校等の修学の一助とする。

(2) 募集対象

令和6年3月に愛知県内の中学校を卒業し、同年4月に愛知県内の高等学校等に入学する者で、修学意欲がありながら学費等の支払いが困難な状況にあり、中学校長の推薦を受けた者であること。

(3) 募集期間

令和6年3月1日（金）～令和6年3月25日（月） 当日消印有効

(4) スケジュール

令和6年5月中旬 採否の選考

令和6年5月下旬 採否結果の通知

令和6年5月下旬（予定）指定口座への助成金の振り込み

令和6年7月末日 「生活状況報告書」の提出

(5) 応募方法

① 応募者は下記の書類を提出する。なお、提出された申請書等は返却しない。

ア 入学時助成金給付申請書

イ 入学時助成金推薦書

② 提出先

〒460-0004

名古屋市中区新栄町二丁目4番地 坂種栄ビル4階

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

③ 提出期限

令和6年3月25日（月） 当日消印有効

3 助成金額

1名あたり10万円の助成金を210名に給付します。

この助成金は原則として返還を必要としない。ただし、目的外の使用、偽りの申請、その他給付生として適当でない場合には、すでに給付した助成金のすべて又はその一部の返還を求めることがある。

4 選考

(1) 選考方法

日教弘愛知支部教育振興事業選考委員会の選考後、愛知支部幹事会の議を経て日教弘愛知支部長が決定する。給付を決定した生徒には、「入学時助成金給付決定書」を本人（保護者）に送付する。

(2) 選考基準

- ① 修学意欲があり、将来にわたって不断に努力できる人物であること。
- ② 学資金の支払いが特に困難と認められる者
- ③ 助成金の使途が適正に使われようとしていること

5 助成対象者の義務等

- (1) 応募時と異なる高等学校等に入学した場合は、入学した高等学校等の在学証明書（各校長発行のもの）を改めて公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部長に提出する。
- (2) 助成金を給付された生徒は、令和6年7月末日までに「生活状況報告書」を公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部長に提出する。

6 問い合わせ先

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

〒460-0004

名古屋市中区新栄町二丁目4番地 坂種栄ビル4階

担当：常任幹事 中野渡 善樹

TEL：052-951-3453 FAX：052-961-9550

E-mail：aichi@nikkyoko.or.jp

URL：<https://www.nikkyoko.or.jp/company/aichi/index.html>

受付番号	
------	--

※記入しないでください。

令和6年度 日教弘愛知支部 入学時助成金推薦書

令和6年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛知支部
支 部 長 様

学校名 _____

校長名 （自署） _____

下記の生徒は、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部入学時助成金給付事業募集要項による入学時助成金の給付を受ける者として適当であると認め、推薦します。

記

生徒氏名			
住 所	〒		
保護者氏名 (後見人氏名)			
推薦理由	(推薦理由には、修学意欲があること、経済的に学資の支払いが困難であること、家族構成等家庭の事情等を記述し、助成金を必要とする状況をできるだけ細かく記述してください。)		
担当者 所属・氏名 (推薦書等について、お答えいただける方)	学年等所属	担 当 者 氏 名	
		電話番号 :	

※厳封して保護者にお渡しください。

受付番号	
------	--

※記入しないでください。

令和6年度 日教弘愛知支部 入学時助成金給付申請書

令和6年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛知支部
支 部 長 様

貴支部の入学時助成金給付事業について、下記のとおり申請いたします。

生 徒	フリガナ			性 別	生 年 月 日	
	氏 名 (自署)				平成	年 月 日
	現住所	〒 TEL ()				
	進学先 学校名	高等学校 制課程 科入学				
保 護 者 (後見人)	フリガナ			続 柄	生 年 月 日	
	氏 名 (自署)				年 月 日	
	現住所	〒				
	電話番号	自 宅 ()		携帯	()	
	Eメール アドレス	@				
入学時助成金額		金 100,000円				
助 成 交 付 金 送 付 先		銀行・信用金庫・() 支店				
		銀行コード		支店コード		
		普通・当座		フリガナ		
		口座番号		名義人		
添 付 書 類		<input type="checkbox"/> 中学校長の推薦書 ※チェック☑を入れてください。				

※個人情報の取り扱いについては、当支部のホームページをご覧ください。

注1 申請書は「中学校長の推薦書」と一緒に、令和6年3月25日（月）までに同封の返信用封筒に切手を貼り、郵送してください。（当日消印有効）

注2 「ゆうちょ銀行」の場合は、支店欄に店番（3桁）を必ずご記入ください。

注3 口座番号、金融機関番号、店番等が確認できる通帳の「表紙裏ページ」のコピーを裏面に添付してください。

三河小中学校長会 役員各位

公益財団法人日本教育公務員弘済会
愛知支部長 岩間 博

電子申請・報告システム導入に伴う試行等のお願い

初春の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本支部の諸事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、電子申請・報告システムの導入にあたり、地区代表校にはシステムの試行を、各学校には当システムから送信したメールの受信確認をお願いしたいと考えております。

つきましては、下記のとおり進めたいと存じますので、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、各市町村教育委員会には当システムから送信するメールの受信について「電子申請・報告システム導入に伴う汎用ドメインについてのお願い」をしていますので、ご承知おきください。

記

1 電子申請・報告システムの試行手順について

- (1) 当支部から地区代表校の学校（代表）Eメールアドレスに、試行の時期を通知
- (2) 教育文化事業（花いっぱい 夢いっぱい事業、元気いっぱい あいちっ子事業、本に親しむ あいちっ子事業、へき地学校教育支援事業）及び教育研究助成事業（学校教育研究助成事業・学校研究部門、特別支援学校教育研究助成事業）の申請・報告を試行
- (3) 期間 令和6年2月5日（月）～16日（金）（予定）
- (4) 方法
 - ①本支部ホームページの「電子申請・報告システム」リンクボタンから申請・報告を実施
 - ②2月上旬に開催の運営委員会・地区代表者会で、詳しくは説明をいたします。

2 送信メールの受信確認について

- (1) 対象 愛知県内すべての小中学校
- (2) 期間 令和6年1月18日（木）～令和6年2月9日（金）
- (3) 方法
 - ①令和6年1月18日（木）10時に、電子申請・報告システムから学校（代表）Eメールアドレスに、メールを送信します。
 - ②各学校は、受信確認のメールを返信してください。

問合せ先

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部
〒460-0004
名古屋市中区新栄町二丁目4番地 坂種栄ビル4階
事業管理システム担当
TEL 052-951-3453 FAX 052-961-9550

各学校長 様

公益財団法人日本教育公務員弘済会
愛知支部長 岩間 博

電子申請・報告システム導入に伴う受信確認のお願い

初春の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本支部の諸事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、電子申請・報告システムの導入にあたり、当システムからご提供いただいた学校（代表）Eメールアドレスへメールを送信し受信確認を行いたいと考えています。

つきましては、下記のとおり進めたいと存じますので、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、各市町村教育委員会には当システムから送信するメールの受信について「電子申請・報告システム導入に伴う汎用ドメインについてのお願い」をしていますので、ご承知おきください。

記

1 学校（代表）Eメールアドレスの受信確認について

- （1）令和6年1月18日（木）10時に、電子申請・報告システムからご提供いただいた学校（代表）Eメールアドレスに、メールを送信します。
- （2）各学校は、届いたアドレスに受信確認のメールを返信してください。

2 受信確認の返信メールについて

- （1）期間 令和6年1月18日（木）～令和6年2月9日（金）
- （2）件名 件名を「〇〇市立〇〇学校」として上記のアドレスへメールを返信してください。

3 その他

- （1）教育文化事業及び教育研究助成事業（学校教育研究助成事業・学校研究部門、特別支援学校教育研究助成事業）の申請が当支部のホームページの「電子申請・報告システム」のリンクボタンより可能になります。4月初旬に依頼文書を貴校（代表）Eメールアドレス宛に送信しますので、ご確認いただきご応募ください。

（2）問合せ先

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

〒460-0004

名古屋市中区新栄町二丁目4番地 坂種栄ビル4階

事業管理システム担当

TEL 052-951-3453

FAX 052-961-9550

愛知県小中学校長会 各校長 様

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

教育文化事業報告書の提出について（依頼）

初霜の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部の諸事業につきまして、ご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度も教育文化事業に多くの学校からご応募をいただきました。ご協力をありがとうございました。ご応募いただきました事業について、下記のように、報告書の提出期限が近づいてまいりました（例年よりも提出期限が早くなっております）。

該当校につきましては、提出期限の確認をお願いいたします。

記

1 申請いただいている事業

「花いっぱい 夢いっぱい事業」（チューリップ球根の給付）

「元気いっぱい あいちっ子事業」

（ドッジボール、サッカーボール等の給付）

「本に親しむ あいちっ子事業」（課題図書[※]の給付）

2 報告書締め切り日

令和6年1月31日（水）

3 その他

（1）報告書は本支部のHPからダウンロードが可能です。

（<https://www.nikkyoko.or.jp/company/aichi/index.html>）

（2）報告書に必要事項を記入の上、本支部まで郵送してください。

（3）令和6年度から「電子申請・報告システム」の導入により、教育文化事業は、WEBでの手続きとなります。

（4）ご不明な点は以下までお問い合わせください。

〒460-0004 名古屋市中区新栄町二丁目4番地 坂種栄ビル4階

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

担当：中野渡 善樹

TEL：052-951-3453 FAX：052-961-9550

E-mail：aichi@nikkyoko.or.jp

三河小中学校長会 各校長 様

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部
支部長 岩間 博**リタイアメント・セミナー（“安心”リタイアメント・マップ） 開催のご案内**

初霜の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃は、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部の諸事業につきまして、ご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、教職員向け「“安心”リタイアメント・マップ」の開催についてご案内します。下記のとおり本セミナーは、専門のファイナンシャルプランナーを講師として、退職を間近に控えている教職員はもちろんのこと、50歳代でセカンドライフの生活設計を考えてみたいという教職員の皆様を対象に行うものです。テキストを用いて、退職後の年金や生活設計、介護のこと、相続のこと、退職金等の運用や資金管理について、無料で解説いたします。

ぜひ、貴校の該当の方々にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

記**1 開催日時・会場**

※開催日時・会場は変更になる場合があります。

開催期日	時 間	会 場	担当営業所
1月13日(土)	14:00～16:00	東郷町民会館	名古屋中央第五
	14:00～16:00	豊田市福祉センター	豊田
1月20日(土)	10:00～12:00	一宮市民会館 大会議室	一宮
	9:30～11:30	新城文化会館	豊橋第三
	14:00～16:00	津島市生涯学習センター	津島第一
1月27日(土)	10:00～12:00	東別院会館 葵	名古屋中央第二
1月28日(日)	10:00～12:00	スカイワードあさひ	瀬戸
2月3日(土)	10:00～12:00	小牧西部コミュニティセンター	小牧第一
	10:00～12:00	アイプラザ半田	半田
	10:00～12:00	ライフポートとよはし教育会館	豊橋第一
	14:00～16:00	おおぶ文化交流の杜	名古屋中央第四
2月4日(日)	10:00～12:00	ルブラ王山	藤ヶ丘
2月17日(土)	10:00～12:00	東別院会館 葵	名古屋東第一
	14:00～16:00	東別院会館 葵	名古屋西第一
2月23日(金・祝)	10:00～12:00	岡崎市図書館交流プラザ302	岡崎第二

2 対象

○退職を間近に控えている教職員

○50歳代でセカンドライフの生活設計を考えてみたいという教職員

※教弘保険の加入会員以外の方も参加できます。

3 申し込み方法

裏面の申込用紙を使って、希望日時の担当営業所またはジブラルタ生命保険株式会社の最寄りの営業所にFAXで送付する、もしくは直接電話で申し込んでください。また、学校担当のLC（ライフプラン・コンサルタント）に、直接お申し込みいただいても結構です。

各会場とも、定員になり次第、締め切りますので、ご承知おきください。

4 その他

○予定時間は約2時間で、参加費は無料です。

○個別の商品のご案内やセールスは、一切行いません。

○配偶者が同行される場合は、お知らせください。

【問い合わせ先：三河地区担当 中野渡善樹 TEL 052-951-3453】

"安心"リタイアメント・マップ F A X 申込用紙

受講希望日	月 日 ()	会場名	
時 間			

学校名	
(ふりがな)	
お名前	
ご住所	〒
電話番号	
メールアドレス	@

※同行される配偶者の有無 有り ・ 無し
 (該当する方に、○印をお付けください。)

【各会場担当営業所 連絡先一覧】

担当営業所	電話番号	F A X 番号
名古屋東第一	052-218-6926	052-222-3166
小牧第一	0568-76-2400	0568-75-7169
瀬戸	0561-83-9594	0561-83-9602
名古屋西第一	052-218-6928	052-222-3167
一宮	0586-72-9221	0586-72-9225
津島第一	0567-28-3362	0567-28-3359
名古屋中央第二	052-218-6301	052-203-0664
名古屋中央第四	052-218-6301	052-203-0664
名古屋中央第五	052-218-6301	052-203-0664
半田	0569-21-1425	0569-21-1456
藤ヶ丘	052-774-1451	052-774-1478
岡崎第二	0564-21-4878	0564-26-1369
豊橋第一	0532-57-1861	0532-54-1570
豊橋第三	0532-57-1861	0532-54-1570
豊田	0565-34-1551	0565-34-1937

令和6年度

『教育新聞』ご購入のお願い

我が国の教育界を代表する教育専門紙

教育のニュース・専門情報を網羅したメディア

週2回、最新の教育情報、有効な教育技術、時事課題等をお届けします。

- ◇ サービス版「愛知県版」は、県内の教育行事、研究指定校の研究概要、読者の声など多くの情報をお伝えします。また、「管理職研修『審査論文をどう書くか』」や「愛知県総合教育センター情報」「名古屋市教育センター情報」などもますますの充実です。
- ◇ 好評を博している「教師力・人間力」は、「若き教師への伝言」として若い教師へメッセージを伝える内容へ、また、「心に響いたことば」は、令和2年度より「わたしを支えたこの一冊」へと衣替えをし、さらに読者の皆様に感動と勇気を与えます。

学校経営の最高責任者である校長先生はじめ、教頭先生、教務主任、校務主任、研究主任、学年主任、研究実践に意欲的な先生や若手の先生方、令和6年度につきましても是非ご購入をお願い申し上げます。

・発行日	毎週 月・木曜日（月7回） ※ 愛知県版は毎月末に付録として発行（無料）
・購読申込み	指定の期日までに、下記（A、B、C）から選択
・購読料	A「新聞版」……………月額 2,800 円（税込 3,024） 値上げ B「新聞版＋電子版」……月額 3,500 円（税込 3,850） 値上げ C「電子版」……………月額 2,500 円（税込 2,750） 据え置き

令和6年度（本社通知）より。新聞用紙などの原材料の高騰、紙面製作にかかわる人件費の上昇等による経費増加に伴い、新聞版にかかわる購読料を改定（値上げ）させていただきます。なお、電子版購読料につきましたは据え置きです。

【教育新聞愛知支部・三河部各支局】

【事務局】 西三河地区 加藤 政幸 Tel.Fax 0564-53-2739
東三河地区 中村 則夫 Tel.Fax 0532-75-8455

教育新聞の「愛知県での歴史」と「活用する良さ」

【教育新聞の愛知県での歴史】

平成 2 年 ①都市及び町村教育長協議会長より、県小中学校長会に
「教育新聞三河支局」の開設を要請

②三河校長会で「支局開設の承諾」及び「購読者募集を
郡市校長会で行うこと」等を申し合わせる

平成 3 年 ①三河支局「購読募集開始」

②教育現況発信「愛知県版」の創刊…県版定期発刊は全国で愛知県のみ

平成 8 年～ 尾張支局開設

* 現在、県版は愛知の義務教育の貴重な資料として「愛知県公文書館」に収蔵！



【教育新聞を活用する良さ】



若手教師へ『教師は時として役者でありたい』と説く。それには、多様な情報を収集・選択して、多彩な言語を駆使する才知が必要であり、新聞記事には、そのための直近の現場情報や伝え方の事例が数多くある。また、記事は学校経営や指導における重要な素材そのものであるため『講話』や『通信』への引用・転用が容易である。



新聞記事活用！3つの良さ！

① 教育特化の最新情報（紙面版月7回、電子版毎日更新）で知見が広がる

・10の項目（タブ）から多様な教育情報を収集（10000件以上の記事が閲覧可能♪）

①「速報」：文科省や先進校の最新情報 ②「クローズアップ」：注目実践事例

③「世界の教室から」：世界の注目実践例 ④「オピニオン」：専門家意見

⑤「Edubate」：課題への教員投票 ⑥「先を生きる」：インタビュー記事

⑦「連載」：専門家の講話集 ⑧「総合」：新聞コラム「鉄筆」

⑨「教員採用試験」：対策資料 ⑩「愛知県版」：過去記事含め掲載

～今の教育の方向や言葉の意味を知っているのは強い～



② 教育情報や価値ある体験談などから教員としての専門性が向上する

・専門家の「意見・見解、その解説」記事で教育動向を理解し知見を広げる

・現場教師執筆の県版記事は「体験や生の声」からの良き事例として活かすことができる

・コラム「鉄筆（全国版）」「こだま（県版）」から教育的視野が広がる

～見方・考え方が広がり、教育活動の作り方やその伝え方に説得力が増す～

③ 「連載」等の利用で自己研鑽や現職研修用の資料が充実する

・「連載」記事をまとめて質の高い現職教育の研修資料を作成する

例1：「適応指導教室を改革する」（～10話：「不登校支援の未来に寄せる思い」他）

例2：教員採用試験「面接の○回答×回答」（～197話「子供への禁句を考える」）

例3：「場面指導のポイント」（～10話：質疑応答型、実演型での内容説明あり）

～自己研鑽だけでなく、研修資料としても使える財産になる～

「恒学歴」恒（つね）に学んだ知識・技能を積み重ね活かす教員へのお手伝い

こんな使い方で教員の専門性が**確実に向上**する！

『教育新聞』**電子版**のお勧め♪

「**そうだったのか!**」～知れば！使いたくなる♪**電子版12の技**～

- 技0：教育新聞HPのトップ画面は常に**最新**の使える教育情報が満載です♪
- 技1：記事は**コピーペースト**できるので編集して資料作りに活用できます♪
- 技2：記事を編集した資料に見出しやマーカー等の**追記**ができます♪
- 技3：記事は「速報」「連載」…「教員採用試験」「愛知県版」など**10項目**で表示されます♪
- 技4：**紙面版にない記事**も掲載・**Web上**に残ります♪（速報、Edubate、記事ランキング、他）
- 技5：過去記事は**時系列**で並ぶので特集を通して見たり系列比較したりできます♪
- 技6：電子版を購読すれば **2014年度から**の掲載記事も見られます♪
- 技7：電子版の**検索機能**を使い関連記事や指導事例などが簡単に見つけられます♪
- 技8：電子版では多くの資料が分類別に常に**整理・整頓**されています♪
- 技9：待望の**愛知県版記事**の掲載が2019年度より始まりました♪
- 技10：電子版の記事は職場・自宅・出張の電車等々**何時でも何処でも**閲覧できます♪
- 技11：電子版では、最新教育情報を「**メール速報**」にてタイムリーにお知らせしています♪
- 技12：電子版の記事は、登録したスマホ以外の**別のパソコンでも**閲覧できます♪

【分類10個項目で**専門性向上**】～「知識」「技術」**習得**、「知見」の**広がり**を手助け～

- ①「速報」…文科省発信、全国調査結果、全国先進実践事例など
- ②「クローズアップ」…今日の教育にかかわる注目実践事例
- ③「世界の教室から」…世界の先進的な取り組み情報など
- ④「オピニオン」…教育課題「働き方改革」「AI」等々への専門家意見
- ⑤「Edubate」…現場課題提案と対する教員投票（傾向把握）
- ⑥「先を生きる」…先駆者（現場）や専門家へのインタビュー
- ⑦「連載」…現場教育に生かせる講話（シリーズ・研修資料）
- ⑧「総合」…話題豊富の教育新聞コラム「鉄筆」
- ⑨「教員採用試験」…現職にも活かせる対応「面接Q&A」など
- ⑩「愛知県版」…県内現職教員の執筆による（現場直結）記事を掲載



専門性
最新の知見
先進的な技術
視野の広がり
見方・考え方
知識と技術

■ **知識・技術・知見**

連載記事を【研修資料】にしよう ～「最新知見」がここにある！～

※活用事例：指導力を高める「校内研修」に**連載の記事**を利用する

- ◆トップページから**連載**の項目をクリックし、**例えば**特集《全10回》「保護者と信頼関係を築く」の記事を選択します。それぞれ**コピーペースト**して**まとめて資料**をつくりま
- す。**見出しや下線、説明**を**追記**して研修資料を作成し現職研修で活用します。

電子版申込は支局長まで。電話・FAX・メールの**連絡**で即購読開始が可能です。

教育新聞西三河支局長 加藤政幸

電話・FAX：0564-53-2739 携帯：090-3445-0276

メール：mk-1201-kato@lily.ocn.ne.jp

教育新聞東三河支局長 中村則夫

電話・FAX：0532-75-8455 携帯：090-8549-0660

メール：neko3342m@tees.jp